

令和5年5月の主なイベント情報など

広報広聴・シティプロモーション課

① ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦

～4年ぶりの声出し応援、J1昇格へ3千人規模の応援団！～

12回目となる今回は、新型コロナでの応援制限の緩和により、4年ぶりの声出し応援となります。

当日は、代表児童によるフラッグアクション、花束贈呈、磐田市長によるキックインなども行われます。

ホームタウンに住む子どもたちが、ジュビロ磐田の試合を一体感を持って応援することで、スポーツに関心を持ち、ふるさと磐田を誇りに思い、郷土愛を育むことを目的としています。

市内小学校全22校の5・6年生、約3,000人がヤマハスタジアムをジュビロカラーのサックスブルーに染めて応援しますので、ぜひ取材してください。

なお、取材にはジュビロ磐田に取材申請が必要です。当日の写真提供もできますので、必要があればご連絡ください。



【ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦】

日時：5月13日(土) 14:00 キックオフ

会場：ヤマハスタジアム

対戦：ザスパクサツ群馬 戦

問合せ先：スポーツのまち推進課 TEL 0538-37-4832

② 磐田能

～夜の静寂な中で行われる「薪能」、

伝統的な雰囲気の中で本物の伝統芸能に触れる～

能楽における能流派の一つ、観世流の伝統を踏まえて建設された屋外能舞台「熊野伝統芸能館」で開催される『磐田能』。なかなか鑑賞することができない本物の伝統芸能に触れることができる機会です。

今年の演目は、狂言「附子(ぶす)」、能「羽衣 彩色之伝(はごろも さいしきのでん)」です。主な出演者は、重要無形文化財総合指定保持者の善竹十郎、長谷川晴彦、村瀬提 などです。

ぜひ、取材してください。



【磐田能】

日時：5月28日(日) 開場 16:30 開演 17:30

会場：磐田市熊野伝統芸能館(池田332-3)

※雨天・強風時はアミューズ豊田ゆやホール

主催：磐田文化振興会

問合せ先：文化振興課 TEL 0538-37-8551

記者・メディアの皆様へ 磐田市のこんな取材はいかがですか？ 磐田市広報からのご提案

海×日の出×バイク

詳しくは、経済観光課（0538-37-4832）へ

「SSTR2023」渚の交流館をスタート！

SSTR（サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー）は、世界的なオートバイ冒険家である風間深志氏が発案した、オートバイによる独創的なツーリングイベントです。

基本ルールは、日の出とともに日本列島の東海岸からスタートし、日没までに日本海の千里浜にゴールするもの。今回、磐田市は参加ライダーの関係イベントとして早朝から渚の交流館を開放し、温かい緑茶サービスやオリジナルステッカーのプレゼントなどを用意します。早朝ですが、ぜひ取材をしていただければと思います。

【日時】 5月20日（土）4:00～6:00

【会場】 渚の交流館（豊浜4127-43）

※当日は、SSTRライダーのために特別開館



子ども×土木愛×イベント

詳しくは、道路河川課（0538-37-4808）へ

「いわた土木LOVEフェスタ」開催！

袋井市、掛川市、菊川市、磐田市の4市と建設業協会や大学などと連携し、建設・土木業界のイメージアップ、担い手不足解消などを目的に組織し、若手職員が中心に運営する「遠州どぼくらぶ」。この活動の一環として、「磐田どぼくらぶ」がイベントを開催します。

当日は、はたらく車との写真撮影や土木のお仕事体験&実験会などが行われるだけでなく、キッチンカーも来て会場を盛り上げます。無人で動くショベルカーは迫力満点で子どもたちも大喜びのはず。ぜひ、取材していただければと思います。

【日時】 5月27日（土）9:00～12:00

【会場】 掛塚橋下（天竜川左岸河川敷）

【主催】 磐田どぼくらぶ / 竜洋西地区地域振興委員会



地域×歴史文化×イベント

詳しくは、文化財課（0538-32-9699）へ

「いじゃまいかけつか 春」開催！

湊町掛塚が繁栄する基となった廻船問屋の建物、旧津倉家の3棟（主屋、応接棟、土蔵）が国登録有形文化財に登録されることが内定しました。

改めて旧津倉家住宅の価値を見直し、掛塚地域の誇りとして永く後世に伝えていく機会として、地域主催の恒例イベント「いじゃまいかけつか」で、旧津倉家の公開を行います。

また当日は、掛塚まちあるき、特設ステージでは掛塚まつり屋台囃子なども披露されますので、ぜひ取材していただければと思います。

【日時】 5月27日（土）・28日（日）

【会場】 掛塚地内

【内容】 旧津倉家住宅公開（9時～15時）、掛塚まちあるき（27日のみ、9・10・13時受付）、ステージイベント（28日のみ、11時～15時）

【主催】 みんなと倶楽部・掛塚



夏の夜空に光る黄緑色の閃光

磐田市安久路地内にある「ひょうたん池」。上空から見ると「ひょうたん」の形をしていることから、この名が付けられました。1日約3,200トン（令和4年度の年間平均）の湧水量を誇り、多くの植物やトンボ、メダカなどの生き物が生息する自然豊かな池です。

この豊かな自然を守るために「ひょうたん池 自然を考えよう会」の皆さんが平成7年から保全活動を実施しており、平成11年からは豊かな水を活用しホタルの飼育活動も行っています。

今年度は、ホタルの生育状況から鑑賞会は実施しませんが、例年5月下旬にはたくさんのホタルが観察小屋を飛び交います。

夏の風物詩である「ホタル」やその環境を保全する取組みを、ぜひ取材していただければと思います。



栄養たっぷりの「赤しそ」

詳しくは、農林水産課 (0538-37-4813) へ

夏バテ対策にもバッチリ！

静岡県は全国第3位の生産量（出典：農林水産省 地域特産野菜生産状況調査 2020年）を誇り、なかでも磐田市は14人（JA遠州中央管内の市内生産者）の方が合計27haの土地で栽培している、県内でも有数の産地となっています。

5月中旬から最盛期を迎える6月にかけて、あちこちの畑で赤しそが栽培されると、一面赤紫色の絨毯のような景色になります。

赤しそは梅干しやふりかけに加工されることが多いですが、市内ではしそジュースやかき氷のシロップに使われるなど多くの方に親しまれています。

これからの時期に最盛期を迎える「赤しそ」を、ぜひ取材していただければと思います。
※とよおか採れたて元気むら（下神増1148）では、5月10日（水）から販売が始まり、毎年7月末頃まで販売しています

